

## 平成30年度 第2回長野県医療審議会 会議録（要旨）

- 1 日時 平成31年3月15日（金）午後4時40分から午後5時30分まで
- 2 場所 長野保健福祉事務所3階 会議室
- 3 出席者  
委員 春日司郎委員、関隆教委員、日野寛明委員、池上道子委員、清水昭委員、牛越徹委員、亀井智泉委員、伊澤敏委員、井上憲昭委員、平野成基委員、久保惠嗣委員、細谷たき子委員、本田孝行委員、松本あつ子委員、山田一尋委員、吉岡二郎委員（欠席 唐木一直委員、奥野ひろみ委員、廣田直子委員、川合博委員、）  
長野県 健康福祉部長 大月良則、衛生技監兼医師確保対策室長 徳本史郎、健康福祉政策課長 滝沢弘、医療推進課長 牧弘志、健康増進課長 原啓明、国民健康保険室長 蔵之内充、保健・疾病対策課長 西垣明子、介護支援課長 小山靖、薬事管理課長 太田靖、医療推進課企画幹兼課長補佐兼管理係長 小林真人 他

### 4 議事録（要旨）

#### 【会議事項】

（基準病床数制度の特例による有床診療所の設置について）

○関会長

それでは会議を始めましょう。まず協議事項が2題、それから報告事項が1題と。

（1）が基準病少数制度の特例による有床診療数の設置について、これ諮問案件ですね。

これからまいりましょう。それでは、事務局お願いします。

#### （牧医療推進課長、資料1-1、1-2、1-3による説明）

○関会長

ありがとうございました。そうしますと、今回は2件、診療所の開設ということですね。

県は、資料1-2にありますけれども、ながのファミリークリニックということで、これ無床から有床診療所ということになるのね、有床化したということですね。

そういうことで、18床の病床でやりたいと。

その次は、次の1-3ですね。関一二三先生。三本柳整形外科クリニック、丹波島に今度は新たに17床の整形外科の急性期の医療をやりたいということで、2ページにありますとおり3人のドクターでやりたいと、ナースは15名決定していると、そういうことですね。

特に人工関節をやりたい、人工股関節と人工ひざ関節ですかね、今、ここでも一般的にやっておりますのは、この2つの関節がメインであろうと思いますけれども。

長野県内で診療で人工股関節をやるなんて、あまり聞いていないですけどもね、そういうのは、でも新しいチャレンジで、かなりやってくれるというのなら、ありかなと思います。

関一二三先生は、1ページに戻っていきますと、病床の設置について許可は要しないが届け出は必要と、そういうことですね。

カが全身麻酔、脊椎麻酔、硬膜麻酔、こういうことで、伝達麻酔（手術を実施した場合に限る）と、実施する機能、年間30件以上手術をします。これは三本柳整形外科のところですね。

それからキは病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受渡ということで、ながのファミリークリニックですね。これがやりたいということでもあります。

これはよろしいですか。

（委員から資料1-1～1-3の内容に関する質問があり、事務局が回答）

○関会長

この2件については、今回、基本として更新するという事によろしゅうございますか。

(委員から異議なしの声あり)

○関会長

はい、ありがとうございます。それでは次にまいりましょう。

(第7次長野県保健医療計画における機能別医療機関の一覧について)

○関会長

第7次長野県保健医療計画における機能別医療機関の一覧について、お願いします。

(牧医療推進課長 資料2による説明)

○関会長

ありがとうございました。そうしますと医療機関の追加・削除、それから医療機関名の加除、それから名称変更ですね。それから歯科項目の追加ということです。

まあ小さい字でいっぱい書いてあるけれども、なかなか読みにくくなってきました、でも一応、いつものとおりだから、これはよろしいですね。

(委員から異議なしの声あり)

○関会長

はい、これは承認ということにいたしましょう。

(医師確保計画の策定について)

○関会長

では、その次、報告事項ですね。医師確保計画の策定ですね、はい、お願いします。

(徳本衛生技監兼医師確保対策室長、資料3による説明)

○関会長

ありがとうございました。5ページですか、地域枠と地元出身者枠の考え方について。地域枠の場合には奨学金をもらったりとか、そういうことがあると、県内の特定の地域への診療義務があると言われて、こういうふうにしてちょっとアメを与えたんだか、ちょっと鞭で、あちこち県内のところへ行ってちょうだいと、そういうふうにして医師を派遣していかなければだめなんだと、そういうことですね。

それに対して地元出身者枠については、私たちのころはこういう奨学金制度は、日本育英会があった、15,000円ぐらいもらってました。そんなような程度なので、こっちに定着するという義務もないし気楽になったわけですね。今みたいに1,440万円ももらえば、ちょっと誰でもそういうわけにはいかないですね。これだけ長野県、一生懸命つけてくれているので、そういうような人たちを大いに使って6年たったら9年間いてくれると、そういうわけですつといてもらいたいと、できれば居てもらいたいと、そういうようなことを私も言っていますし、そして卒業した後も必ず追っかけて呼んで、毎年呼んで、ちょっとどうだ、調子はどうだ、今度はどこへ行きたいとか、そういうようなことをずっとやっていったほうがいいと思うんですよ。

そういうコンタクトを持っていくと県のほうにも愛着を持ってくれるし、ずっと住みついても  
らいたいと、できればそう思うので、そんなようなことをやっていけばいいかなと思ってお  
ります。

まあここは報告事項ですからご報告をいただいたという、これよろしいですか。

### 3 その他

#### ○関会長

その他、何かご報告はありますか。交代の皆さんのインタビューとか、その他はよろしいで  
すか。まずどうするのがいいか。

それではこの医療審議会はこれでよろしいですか、これでよろしいですか。

では、事務局へお返ししますので、お願いします。

### 4 閉 会